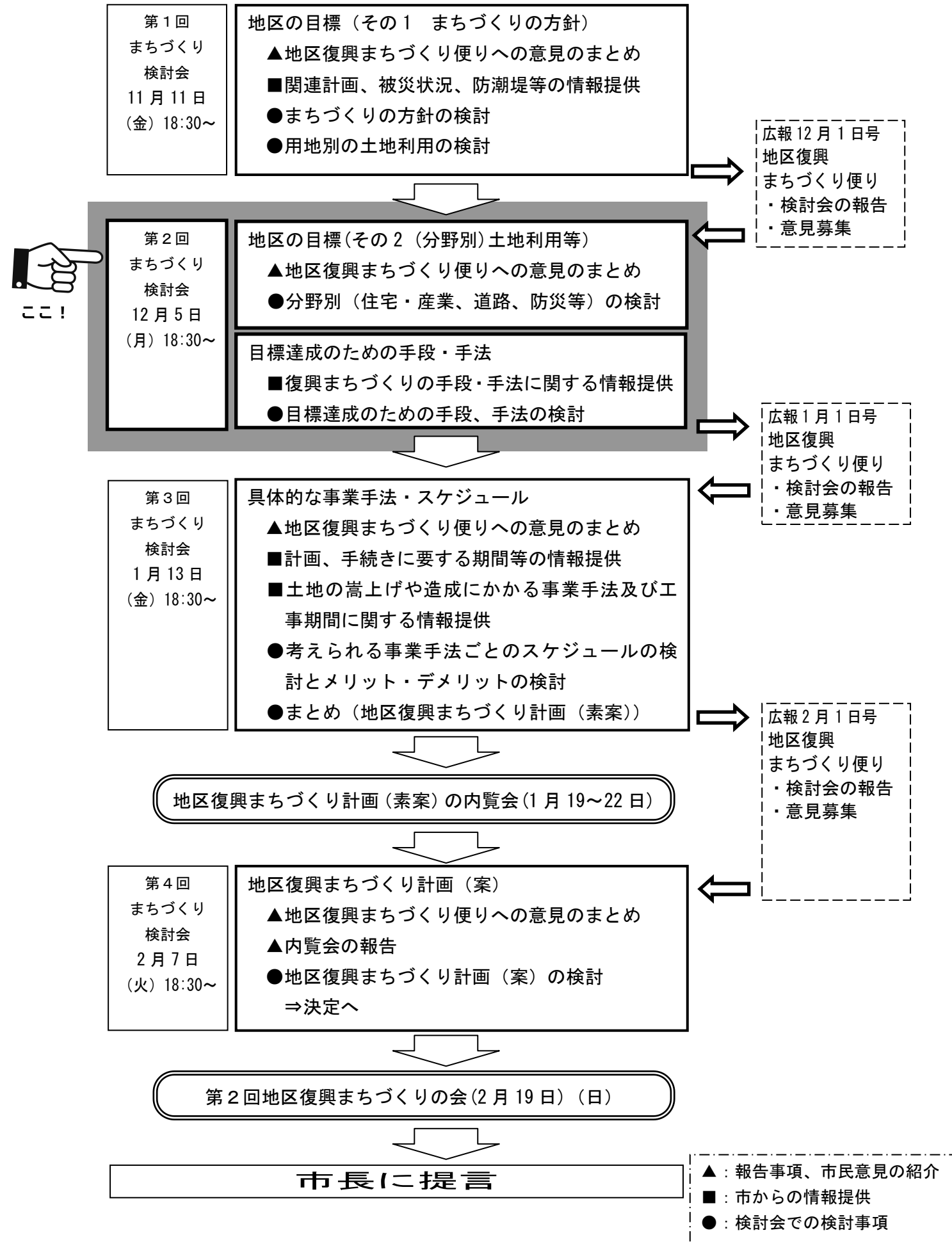


愛宕・築地・光岸地地区復興まちづくり検討会の各回の検討事項



第2回検討会の検討事項

- 第1回検討会では、復興まちづくりについて、みなさんの思いを語っていただきながら、地区復興まちづくりの方針や用地別土地利用の方針について、意見の共有を図りました。
- 第2回検討会では、第1回検討会の意見まとめと、地区復興まちづくり便りへの意見、復興まちづくりの手段・手法を踏まえ、分野ごとに絞った検討を進め、住宅や産業などの土地利用、避難道路、防災施設等の整備方針をまとめていきます。

1 検討会規約等の確認（資料2）

第1回検討会で協議した結果を規約等へ反映しました。確認してください。

2 前回検討成果の確認等

(1) 第1回検討会の成果（資料3）

第1回検討会で検討した内容については、まとめてみました。確認してください。

（※地区復興まちづくり便りに掲載してものと同じものです。）

(2) 地区復興まちづくり便りの成果（資料4）

第1回検討会の検討成果を地区復興まちづくり便りに掲載しました。それに対するご意見をいただいています。確認してください。

（⇒事前配布以降に届いたものは検討会当日に配布します。）

◆(1)(2)の確認をするとともに、意見を踏まえて修正すべきことなどについて検討しましょう。

3 情報提供

(1) 復興まちづくりの手段・手法（資料5）

復興まちづくりを進めるための手段や手法の紹介と、検討にあたっての留意点、参考資料を説明します。今後の検討の参考にしてください。

(2) 地区の人口・世帯の状況（資料6）

今後の検討の基礎資料として、地区内のエリア別の住居必要戸数や地区の年齢別人口構成に関する情報提供します。今後の検討の参考にしてください。

（⇒年齢別人口構成に関する資料は検討会当日に配布します。）

4 手段・手法を踏まえた分野別（住宅・産業、道路、防災等）方針の検討

第1回検討会では用地別の土地利用について検討しました。今回はその成果を全域にわたり具体的に検討していきます。

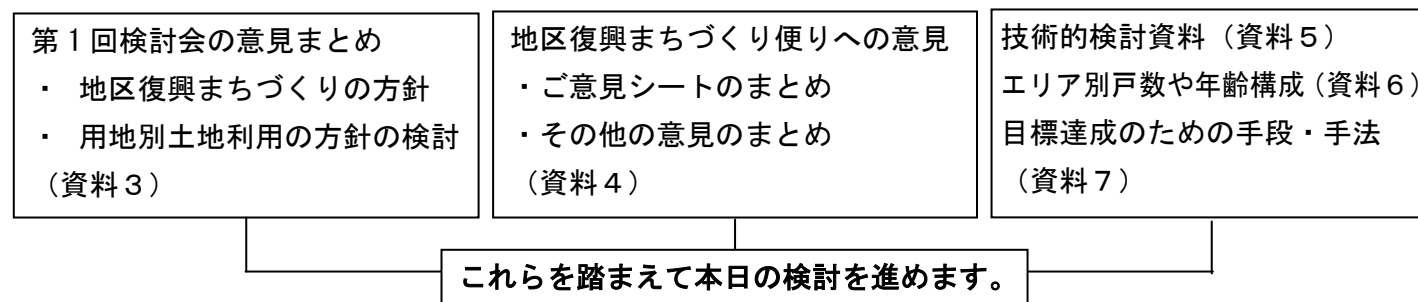
その際、住宅・産業等の土地利用と、道路、防災等の施設に分けて検討を進めていきます。また、その方針を実現するための手段・手法に関しても検討していきます（⇒次頁の検討イメージ参照）。

5 分野別方針、手段・手法に関する意見まとめ

4で検討した内容をそれぞれ発表しあいます。共通する意見や異なる意見をみんなで確認し、意見交換を行います。また、手段・手法に関しては、メリット（利点）やデメリット（問題点や課題）を検討していきます。（⇒検討イメージ参照）

裏面に続きます。

◆手段・手法を踏まえた分野別（住宅・産業、道路、防災等）方針の検討イメージ

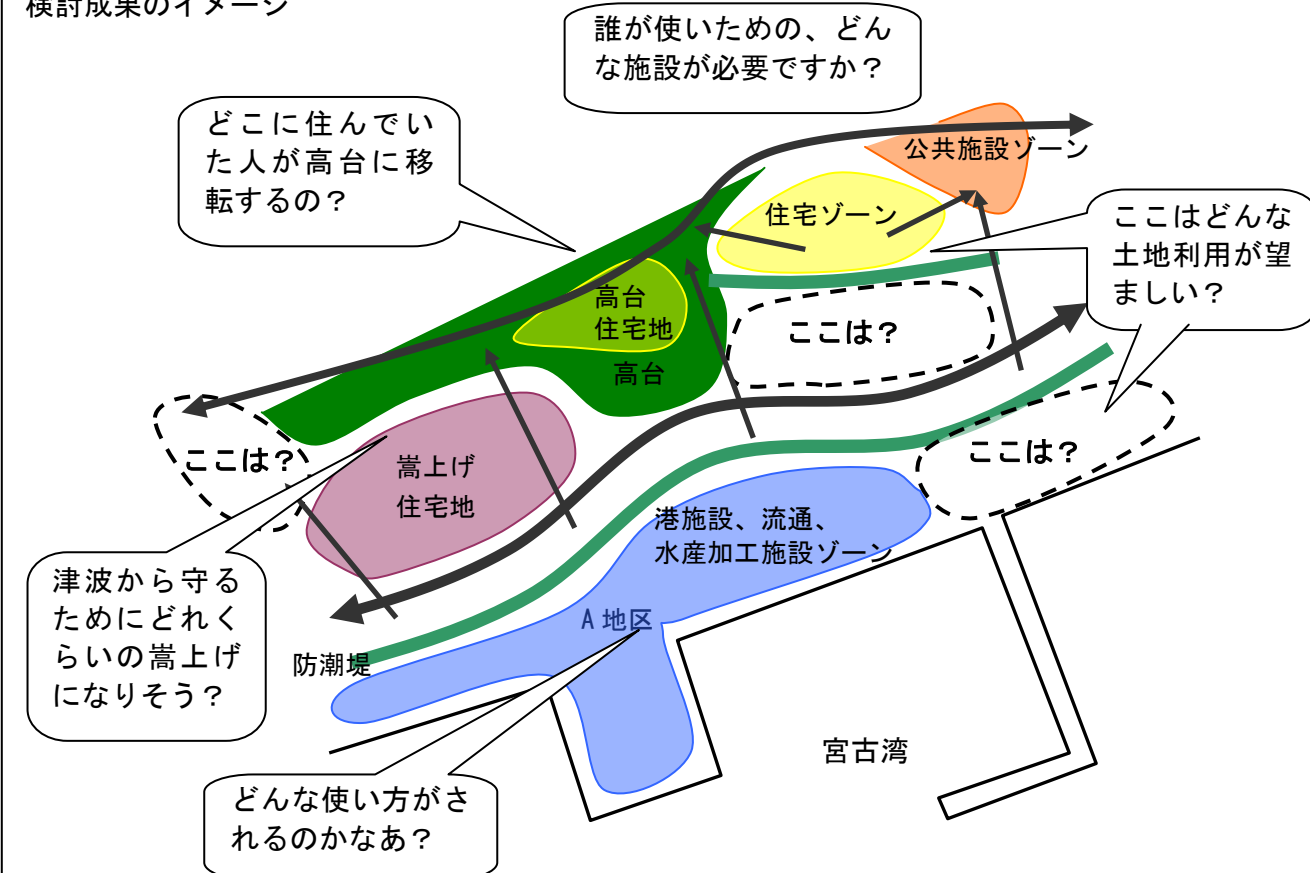


検討1 住宅・産業等の土地利用の方針の検討

第1回検討会で用地別土地利用の検討を進めました。そこで共有できた土地利用の考え方を下図にしながら、地区全域について具体的に以下のことを検討しましょう。

- ・ 地区内の全エリアにおいて、どのような土地利用が望ましいか考えましょう。
- ・ 住宅地を移転する場合など、どのエリアの方が移転するのかを考えましょう。
- ・ 産業振興のための土地利用について、具体的なアイディア、要望等考えましょう。
- ・ 人が集まる拠点として、どこにどのようなものが必要なのかを考えましょう。
- ・ 住み続けるためには、どのような手段・手法が必要なのかを考えましょう。

検討成果のイメージ

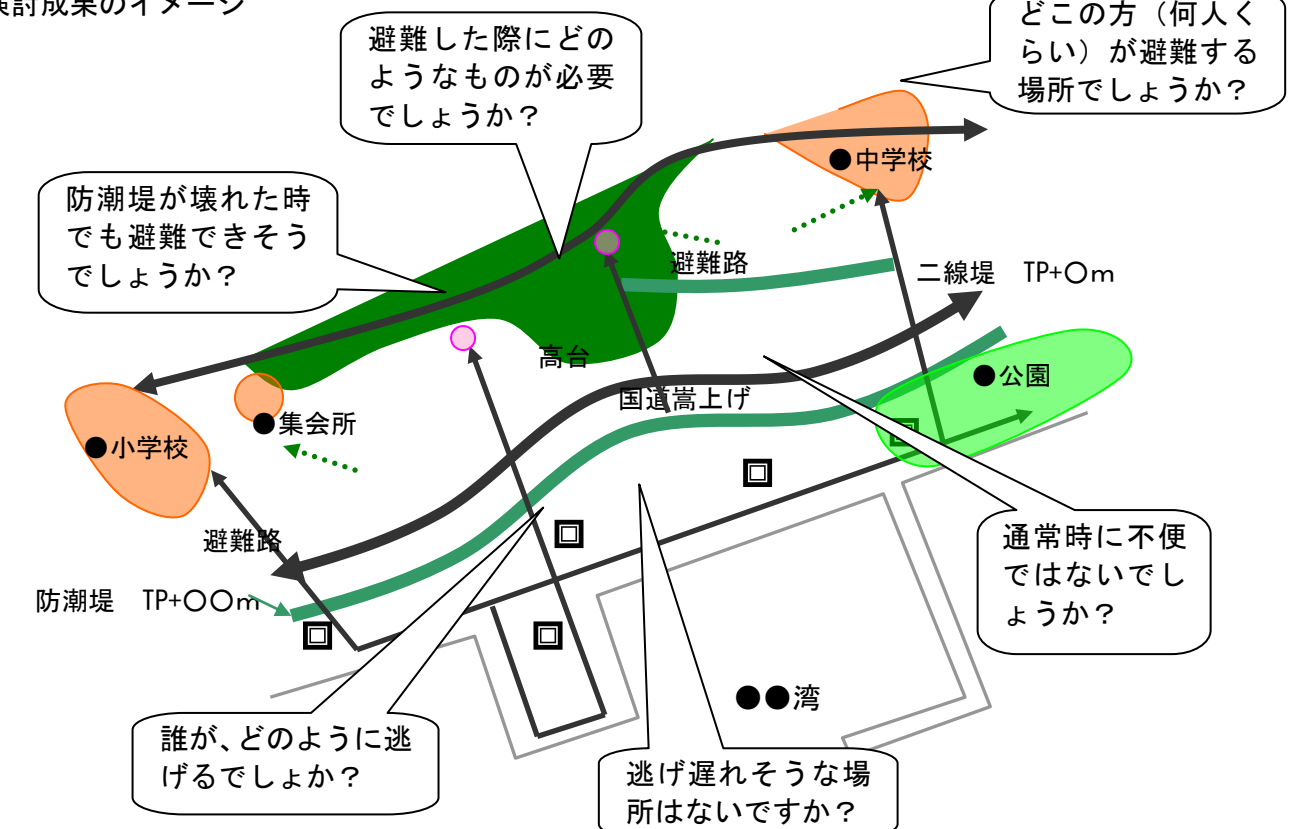


検討2 道路、防災等の方針の検討

第1回検討会で用地別土地利用の検討において、避難道路や避難場所などについても多くの意見が出ました。そこで共有できた避難道路や避難場所などの配置の考え方を下図にしながら、地区全域について具体的に以下のことを検討しましょう。

- ・ 通常時の利便性についても考慮して幹線道路等のあり方について考えましょう。
- ・ 防潮堤が壊れた場合を想定して、避難道路や避難場所について考えましょう。
- ・ 地域間の道路ネットワークについて考えましょう。
- ・ 避難施設の配置や設備などについても考えましょう。

検討成果のイメージ



◆分野別方針、手段・手法に関する意見まとめのイメージ

検討3 分野別方針、手段手法に関する意見交換

各班で検討した後、全体で意見交換を進め、検討会としての考え方をまとめていきます。

- ① 各班で検討した成果を発表しあいます。
- ② 共通する意見・考え方、異なる意見・考え方などを確認します。共通する部分は検討会の決定事項となります。異なる部分については、その検討過程を紹介してください、その上で、検討会としての考え方をまとめましょう（必ずしも1つにまとめる必要はありません）。
- ③ 手段・手法に関して、何のためにその手段・手法を選ぶのか、その利点や問題点などを意見交換しましょう。次回の事業手法等の検討の基礎になります。